

## 学級開きで担任が伝えることリスト（1年生編）

### ★姿勢を正す

#### ○「環境が変わることは、新しい自分になるための最大のチャンス」

- 中学校は、生徒が社会の一員として自立していくための力をつける場所。
- なぜなら中学校は義務教育の最終段階で、早い人はあと3年で社会に出て行くことになるから。
- よって中学校では勉強だけでなく、その他様々な活動や教員の関わり方も小学校とは異なってくる。
- このように環境が大きく変わることは、新しい自分になるための最大のチャンスでもある。
- 中には小学生のときに何か失敗をしたり、うまくいかないことがあったりした人もいると思うが、みなさんは今すでに中学校の入学式を終え、新しい世界の入り口に立った。
- 私はみなさんの過去ではなく、これからの姿を見守っていきたい。
- 「本当になりたい自分」になるために、今ここにいる全員で最初の一步を踏み出そう。

#### ○「主体性を持つ」

- 新しい生活を始める上で、みなさんに理解してほしい大切なことがある。
- それは、「充実した学校生活を送れるかどうかは、自分次第である」ということ。
- 学校は自宅のようなプライベートな場所とは異なり、そこで集団生活をするわけだから、もちろん楽しいことばかりではないし、様々な制限や面倒なことだってある。
- しかし、そんな学校だからこそ体験できることや、学べることがたくさんある。
- そのことに気付き、自ら考え、行動しようとするなら、人として大きく成長することができる。
- 学校の主役は生徒であり、担任はそのサポート役であることを忘れないでほしい。

#### ○「担任としての覚悟を示す」

- これからの生活の中で、時には失敗をして私に注意されることがあるかもしれない。
- 特に、意図的に周りへ迷惑をかけたり、誰かを傷つけたりするようなことがあれば、私は本気で指導する。
- その時は素直に反省し、同じ失敗を繰り返さないようにすればいい。
- 私は今後どんなことがあっても、担任として最後までみなさんを見守り、関わり続けていく。
- 1年後、ここにいる全員が自分の成長を実感し、自信を持って次のステージに挑戦していけるよう、心から応援している。